

Ⅳ-4 巣立ちゆく子どもを見守りましょう

エピソード

中学2年生の朋子は両親・高校3年生の兄と祖父母の6人家族です。両親は共働きで、父親は1年前から県外へ単身赴任をしています。父親は月に1度月末に帰宅します。普段の食事は、兄と祖父母の4人でしています。

6月、帰宅した父親から、「来月は帰って来ないが、子ども達も夏休みに入ることだし、赴任先の近くにある温泉を予約したよ。みんなで遊びに来いよ」という話がありました。父親の赴任先には行ったことがないので朋子は行きたいと思いましたが、その日は部活の試合が予定されている日でした。大学受験を控える兄も模擬試験が予定されていました。

2人は、参加が難しいことを話しました。父親は不機嫌になり席を立ち、翌朝早く赴任先へ戻って行きました。そんな父親の姿を見て、朋子は腹立たしいような悲しいような気持ちになりました。

次の夜、祖父母と兄と4人で食事していると、間もなく結婚50年を迎えるので、父がそのプレゼントとして温泉旅行を企画してくれたと、祖父母がうれしそうに旅行のことを話し出しました。

朋子と兄は精一杯の笑顔をつくり、その話を聞いていました。



Work① 各自の気づきをメモし、発表しましょう。

- ・話を聞いた時の朋子の気持ち
- ・不機嫌になり席を立った父親の気持ち

Work② Work①で気付いたことをもとに「分かり合える親子関係」について話し合いましょう。

- ・父親はどんな対応をするとよいでしょう。
- ・朋子はどんな話し方をすればよいでしょう。

アドバイス

子どものためにと考えていることが、必ずしも子どもにとってうれしいことばかりではありません。子どもの成長と共に、子どもの考えを聞いてから決めることが大切になる場面が多くなります。子どもの話を聞く姿勢を持ちましょう。



Work③

巣立っていこうとする子どもは、
家族に対してどんなことを感じているでしょうか。
グループで話し合しましょう。

資料

「子どもに語ろう」一言集 ～ふれあい 語り合い みとめあい～〈子どもから大人へ〉

【愛知県教育委員会より】

- ・言おう。いつもその一言。伝えられない。
言えないあまりにけんかばかり。いつか笑って話せる日。くるよね。
- ・「ありがとう」。心の中で言っています。
親に対する感謝の気持ち、どう表せばいいのだろう。
- ・私が大人になったら、父のような人と結婚して
母のような人になりたい！ それが私の夢です。



アドバイス

子どもは、日々成長しています。

巣立ちゆく子どもの姿を見守るのは頼もしい反面、親にとっては少し寂しくもあります。一緒にいる時間が減り話をしなくなっても、それは子どもが巣立ちの準備を始めた証拠でもあるのです。子どもの成長の上で大切なポイントは抑えつつ、子どもが自分の世界をもち始めたことを尊重し、信じて、遠くから見守っていきましょう。

